

# 白方の風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで  
健やかに生きる児童の育成

令和7年度  
No.39  
東海村立白方  
小学校  
2026.2.6  
児童数452人

大寒、節分が過ぎ春の足音が近づいてきている時期となってきました。水戸の偕楽園の梅まつりもうすぐ始まる季節です。

1月28日(水)には東海中学校で、6年生が参加した「オープンウィンタースクール」が開催され、1月29日(木)には本校で新入生保護者説会を開催、昨日2月5日には、村立中学校2年生が立志式を行うなど、春の新たな門出、人生の大きな節目となる春を迎えようとしています。一人一人の児童が新しい学年、新しい学校へ、安心して健やかに進学、進級できるよう年度末へ向け、支援に力を尽くして参ります。

## 雅楽の学習

～ 初めて箏を弾くことに挑戦しました。 ～

1月26日(月)外部講師の方をお招きして、音楽の和楽の学習を行いました。学習は4年生と6年生合同で実施しました。

4年生は和楽器の演奏に親しむ目的で、講師の先生方の箏と尺八の演奏を聴き、箏や尺八、ひちりき、笙(しょう)、鼓などといった楽器の名前や音色を教えてくださいました。

6年生は講師の先生方の演奏の後、全員が箏で「さくらさくら」の演奏に挑戦しました。親指に爪を付けて、薬指を竜頭(座って右側の端)側の竜角(糸を張るために支えている部分)に薬指をあて、中指と人差し指を、弾く糸の二つ上の音の糸に軽くあて、薬指、中指、人差し指(向こう指)に向かって、親指を動かすイメージで弾くといった弾き方を教えてくださいました。初めて箏を触る人がほとんどでしたが、講師の先生方のご支援のお陰で、みんな「さくらさくら」を演奏することができました。ランチルームには箏の音色が広がり、厳かな春の雰囲気を感じることができました。



## 昔あそび

～ しらかたキッズサポーターの皆様と楽しい時間を過ごしました。 ～

1月27日(火)に、1年生が昔あそびの学習を行いました。当日は8名のしらかたキッズサポーターの方々がお越しくださり、昔あそびと一緒にやって楽しい時間を過ごしました。

1つの教室と中庭に分かれて遊びました。1組の教室では、お手玉、かるた、あやとりを教えていただきながら楽しみました。東海村郷土かるたにも挑戦して、東海村の名勝やお祭り、特徴をかるたを通して知ることができました。

2組では、だるま落とし、木製ヨーヨーを楽しみました。だるま落としは、勢いを付けてだるまの下に重ねてある木片を飛ばすことが難しかったようですが、上手くはじき出すと拍手が湧いていました。

ウッドデッキから外に出た中庭では、羽子板、竹とんぼを楽しみました。羽子板の羽の根本の玉の部分は「ムクロジ」といった木の固い実でできているとのこと。竹とんぼは、軸の竹串を手の平で同じ方向に回転させる時に、「とんでー」と声をかけて、懸命に力を入れている様子が印象的でした。

3組では、めんこけん玉を楽しみました。めんこを勢いを付けて床にたたき付けると、風が起こり、近くのめんこが裏返り「やったー」といった歓声が上がっていました。

キッズサポーターの皆様にご来校していただき、一緒に遊ぶ機会をえることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。加えて、昔あそびを通して、郷土の東海村のことや、昔のあそびに使われていた道具の名前や仕組みなどを学ぶことができました。誠にありがとうございました。



## 【お願い】

大寒前後から、インフルエンザB型が流行してきております。予防へ向けて小まめなうがい、石けんでの手洗い、感染リスクが高い場面でのマスクの着用、体調が優れない場合の早めの休養をお願いいたします。